



自転車暮らしを 変える

「自転車 のまちづくり」

宇都宮市がめざす新しい都市像とは？

特集
自転車のまち
宇都宮

原油価格の高騰や景気低迷を背景に、日常の移動手段として自転車を選択する人が増えています。特にスタイリッシュで健康的、環境にやさしいというイメージからスポーツバイクの注目度が高く、先月開催されたジャパンカップサイクルロードレースも大きな話題となりました。そんな中、宇都宮市は今、「自転車まち推進計画」の策定を進めています。今後、私たちの暮らしやまちに、自転車がどんな変化をもたらすのでしょうか。自転車のまちの魅力や自転車ライフについて取材しました。

「宇都宮が 自転車のまち」に？

手軽で経済的な乗り物というこれまでのイメージに、「オシャレ」「健康的」「スポーティー」という要素が加わった昨今の自転車ブーム。ポタリング（自転車散歩）、ツーキニスト（自転車通勤者）などの新語も生まれ、素敵なバイシクル・ライフを紹介する雑誌も続々と創刊されています。幹

線道路沿いや住宅地でも、レーサー仕様のヘルメットをかぶったサイクリストを目にすることが多くなりました。

確かに、市街地を中心に比較的平坦な土地に恵まれた宇都宮市で生活する人にとって、自転車はとても身近な乗り物です。1990（平成2）年に開催されたアジア初の世界選手権自転車競技大会ロードレースに市内は大いに沸き、1992（平成4）年から毎年10月に開催されているU

CI（国際自転車競技連合）公認の自転車レース「ジャパンカップサイクルロードレース」は、世界トップクラスの選手たちの活躍を見ようと全国から6万人以上ものファンが集う大イベントとなっています。

また、日本初の地域密着型プロサイクリルの活動拠点であること、多くの競輪選手を輩出していることなどを見ても、宇都宮が自転車と縁のあるまちであることは間違

いないようです。

しかし、現状のままの宇都宮市を「自転車のまち」と呼ぶことに違和感を感じるという人も少なくありません。例えば、交通手段分担率（通勤通学で使っている人の割合・平成12年国勢調査）を見ても、本市の交通手段は全国平均と比較して鉄道利用者が極端に少なく、自家用車利用者が多いという実態がうかがえます。1人当たりのCO2排出量は全国の道府県庁所在地の中で4番目に多いという調査結果も公表されており、宇都宮市は「車のまち」と言わざるを得ない状況です。

「手間もお金もかかる 自転車のまちづくり」

世界に目を転じれば、パリ、ロンドン、ニューヨーク、コペンハーゲン、グローニンゲン（オランダ）など、欧米には自転車のまちとして知られている都市が数多くあります。

カバンを斜めがけにして長い自転車専用レーンを疾走する会社員や、緑の休憩スポットで自転車を停めてくつろぐ親子連れ：時折映像で紹介される、自転車のまちの風景は、豊かでファッショナブル。まさに理想とするライフスタイルが映し出されます。

しかし、これらの都市がすべて、最初から自転車のまちだったわけではありませぬ。過去に一度は車社会を経験し、そ



カラー舗装整備された自転車専用レーン

の後自転車に価値を見出した首長のリーダーシップのもと相当な時間とお金を掛けて自転車まちが作られたのです。

「街を居心地の良いリビングルームに」をモットーに掲げ、50年もの歳月をかけて約2万5千kmの自転車専用道路を整備したグローニンゲンや、2千台のシティーバイクを街に備え、今や人口の約36%の人が自転車で通勤や通学をするコペンハーゲン。大都会ニューヨークでも3年間で300km以上の自転車専用レーンを整備し、市営バスに折り畳み自転車対応を義務付けるなど、積極的な取り組みを行っています。

これらの都市の先進的な取り組みをモデルに、日本各地でも自転車を生かしたまちづくりの動きが広がっています。しかし、その多くは観光振興を目的としたレンタサイクル事業などが主で、街全体を「自転車のまち」として整備しようという宇都

宮市の計画は、かなり先駆的。チャレンジングとも言える取り組みです。

果たして、宇都宮が欧米の都市のように、名実ともに「自転車のまち」となることができるのでしょうか？ 計画策定を担当している宇都宮市総合政策部交通政策課を訪ねて、「自転車のまち推進計画」についてうかがいました。

「安全」「快適」「楽しさ」「健康・エコ」が柱

宇都宮市では2003（平成15）年に「自転車利用活用基本計画」を策定し、これまで自転車走行環境や利用環境の改善、他の交通手段としての連携の強化など、交通手段としての利便性を高めるという視点で、さまざまな整備を行ってきました。この計画の最終年次にあたる今年度、新たな自転車活用計画（期間は2011（平成23）年度から5年間）として「自転車のまち推進計画」の策定が進められています。

現在までにまとまった素案によると、目標は「自転車のまち宇都宮」の実現。誰もが安全に便利に楽しく自転車が利用できると共に、人や環境にやさしい自転車を愛するまちを目指すとうたわれています。施策の柱となるのは、

- 1 だれもが安全に自転車が使える
安全性の向上
- 2 だれもが快適に自転車が使える
快適性の向上

3 だれもが楽しく自転車が使える
観光やスポーツの推進

4 だれもが健康とエコに自転車が使える
健康の増進と環境保全

の4項目で、市内の自転車交通分担率を現在の20%から25%にアップすることを10年後のチャレンジ目標として掲げています。

新計画に基づく新規重点事業として計画されているのは、まず「安全」では新たな自転車走行空間の整備と、交通安全教室等の継続・拡充。これまでは優先整備路線を選定し、自転車専用通行帯（4路線4.1km整備済）や、自転車歩行者通行帯（6路線3.78km整備済）、注意喚気表示（3路線8箇所整備済）のカラー舗装整備を進めてきました。新計画では自転車走行空間の整備延長目標を25.4kmとしており、安全面の効果が高いカラー舗装整備により、人身事故などが減少することが期待されています。



宇都宮市 総合政策部
交通政策課
交通計画グループ
田代 卓也さん



10月2日に
オープンした
宮サイクル
ステーション

10月2日にオープンした宮サイクルステーション。同機構の事務局長大岡幸雄さんは「これまで施設の利用にあたるのは、特定非営利活動法人「宇都宮まちづくり推進機構」。



特定非営利活動法人
宇都宮まちづくり推進機構
事務局長
大岡 幸雄さん

今後の展開が楽しみです。

「自」 転車のまち宇都宮」をアピールする新たなスポット「宮サイクルステーション」が10月2日(土)、JR宇都宮駅西口にオープンしました。この施設は、市が進める「自転車のまちづくり」に基づく自転車利用者の利便性向上モデル事業として運営され、自転車利用者のニーズの把握や、新たな自転車利用の掘り起こし、自転車を活用した中心市街地の活性化などの検証等を行う

宮サイクルステーションに
行ってみよう！



ことが目的とされています。また完成したばかりの真新しい「宮サイクルステーション」を訪ねると、シックな印象の建物に大きく「走れば愉快だ宇都宮」の文字。何があるの？と中を覗き込む人の姿もありました。入口でお出迎えをするのは、今夏ふるさと宮まつり開催時にデビューした、宇都宮ブリッツェンの公式マスコットキャラクター「ライトくん」。もちろん、施設内にもブリッツェン情報が満載。写真集や情報誌などを自由に閲覧できるスペースが設けられています。目を引くのは、壁に展示されたレース仕様のスポーツサイクル。他に、ロードバイクなどのレンタサイクルが用意されており、簡単な登録手続の後4時間500円、全日1000円という低料金でレンタルすることが可能なので、サイクリングを楽しむことができます。

で私たちは、宇都宮中心部の活性化を図るために、さまざまな事業を展開してきました。中心部活性化という視点からも、自転車利用の推進には期待しています。宮サイクルステーションは、全国的に見ても先駆的な公共施設。平成24年3月末までのモデル事業ですが、本格整備のための基礎づくりとして、幅広い事業展開を考えています。オシャレで格好いい乗り物自転車が浸透することで、宇都宮のイメージもアップするのでは」と、この事業に大きな期待を寄せています。「レンタサイクルは、本格的なロードバイク、クロスバイク、スモールバイクなど15台を用意しています。一度乗ってみると、楽しさがわかるといいます」と言う大岡事務局長。自転車に触れる機会を提供し、自転車ファンを増やすことも同施設の役割のひとつです。さらに利用者のニーズを探りながら、自転車の一時預かりやロードバイク走行講習会、自転車を使ったフィットネス講座、街中ライド、平日の夜に宇都宮ブリッツェンの選手との交流を行うブリッツェンコミュニティなどの開催を検討していく予定です。

市民の力で「自転車のまち宇都宮」を盛り上げよう！



イベント案内や観光PRをする青年部メンバー

10月23日(土)、24日(日)に開催されたジャパンカップサイクルロードレース2010。今年はいつもとちよと違うと感じませんでしたか？

は、宇都宮市大通りを周回(総距離32km)する初のクリテリウムレースが開催されたのを機に、宇都宮商工会議所青年部を中心とした実行委員会が「サイクルシティ」のみや2010」を企画。232店のサポート店の協力を得て、イベントを大いに盛り上げました。

レースの1カ月前から実施した、オフィシャルウェブサイトのサポート店情報掲載や、各サポート店利用客のみが投票できる「優勝チーム当てクイズ」は大好評。参加した皆さんの「おもてなしの心」は、レース観戦に訪れた多くの人にとつくと伝わったようです。



郊外型駐輪スポット案内表示板



16台の屋根付き駐輪スペースが整備された瑞穂野団地バス停



ホテルに設置した「おもてなし」レンタサイクル

「快適」についての具体的な取り組みで目

を引くのは、休憩スポットとなる自転車の駅の新設。市内36カ所が計画されています。この他、鉄道駅周辺、バス停付近の駐輪場整備も進めます。「楽しく」では、観光レンタサイクルの導入やモビリティセンターの整備、自転車マップの作成など、観光・スポーツという視点を重視した取り組みに重点が置かれます。レンタサイクルに関しては、従来のレンタサイクル事業(市内4カ所)で貸し出し・1日

「宇都宮市には、プロのレースチームや豊かな緑、緩やかな大地といった下地があります。私自身は、宇都宮市は欧米のような自転車のまちになる可能性を持ったまちだと思っています」と、目標実現への意欲をにじませます。

世界で最良の自転車都市と呼ばれるコペンハーゲンの首長に「なぜコペンハーゲンの人はこんなに自転車が好きなのですか」と質問すると、首長はこう言ったそうです。「常に自転車が歓迎されている、優遇されていると感じているからこそ、市民が自転車利用を続けているんですよ」。そして「市の不断の努力の賜物です」と続けたそうです。今、コペンハーゲン市は町中にグリーンルートを敷き、まちの中に緑を増やす計画を進め、2015(平成27)年までに世界一のサイクリング都市となることを目指しています。その計画推進を、市民の「車よりも自転車に乗ることがステータス」という価値観が支えています。



自転車とコペンハーゲンの街並み



「自転車のまち宇都宮」のロゴマーク



1回100円)に加えて、本年10月からモデル事業として「おもてなしレンタサイクル」(ホテル宿泊者のみ利用可・無料)が市中心部周辺の7ホテルで実施されています。最後の「健康とエコ」の新規事業としては、自転車のモニター事業を実施。市内企業の従業員に通勤などでの自転車の利用促進を依頼し、健康面などへの自転車利用の効果の検証を行います。「ちよと今が、車から自転車への転換期だと思っています。『自転車まち宇都宮』を実現するためには、自転車が快適に走れる空間を作り、公共交通との連携を図るなどまち全体の環境を整えるところから、ルールやマナーの意識高揚、観光・スポーツ事業との連携、さらに自転車の楽しみ方のPRなど、総合的に進めていく必要があります。行政だけではなく、民間の事業者や一般市民の皆さんと連携を図ることも大切です。ぜひ、皆さんのご意見をお聞かせいただきたいと思っています」と、新計画の素案について説明してくれた宇都宮市交通政策課交通計画グループの田代卓也さん。

市が不断の努力を重ね、1人ずつでも自転車に乗る人が増えれば、自転車で愉快に暮らすことを望む人が増えれば、やがて宇都宮市が自転車のまちとして世界に認められるようになる可能性は十分にあります。大切なのは、ペダルをこぎ出すこと。そして宇都宮のまちの変化を身体全体で感じることもなかも知れません。

以外と知らない!? 自転車のルールとマナー

自転車乗用中に歩行者とぶつかり、怪我をさせてしまったり、命にかかわる重大な交通事故が多発しています。自転車は車両の仲間。被害者やその家族に対する責任を負わなければなりません。自転車の交通ルールやマナーを知って、安全に自転車を利用しましょう。

自転車は車両の一種

自転車は、道路交通法に定められているルールを守らなければなりません。例えば道路に書いてある「止まれ」の標識。これも自転車は守らなければなりません。

走行する場所は、歩道と車道の区別のある道路では車道の左側端。ただし、13歳未満の子供も、70歳以上の方または身体の不自由な方が自転車を運転するとき、自転車の通行の安全を確保するため、歩道通行することがやむを得ないと認められるときは、歩道を通行することが可能です。通行時は、歩行者優先で車道より徐行するのが基本です。

また、一般の路側帯と駐停車禁止路側帯を通行することができますが、歩行者に迷惑にならないような速度と方法で通行しなければなりません。

安全ルールを守ろう

飲酒運転・二人乗り・並進の禁止、夜間のライト点灯、信号遵守と一時停止などは当然の安全ルール。運転中に携帯電話を操作したり、ヘッドホンの着用、傘差し運転なども、罰則はありませんが安全運転義務違反となるので注意が必要です。意外と忘れられがちなのは、子どもを補助椅子等に同乗させる時のヘルメット着用。子どもを乗せたままスタンドで自転車を立てておき、自転車が倒れた際に子どもが怪我をするというケースがよくあります。命を守るためにヘルメットは積極的に着用させましょう。

特集 自転車のまち宇都宮
自転車が、暮らしを変える
「自転車のまちづくり」

事故への備えは保険加入

自転車側が加害者となった交通事故で、高額な賠償金を課されるケースが増えています。例えば、夜間に無灯火で携帯電話を操作しながら自転車を運転し、歩行者に追突し、歩行困難などの障害を負わせてしまったケースでは、自転車の運転者に約5千万円の損害賠償金を支払うよう命じる判決が出ました。自転車に乗る場合のリスクとしては、「自分が怪我をする」「人を怪我させる」「人の物を壊す」などが挙げられますが、「自分が怪我をする」リスクは、傷害保険、他の2つのリスクは個人賠償責任保険で備えることが可能です。この両方に備えるシステムとして、自転車安全整備店で整備した自転車に対して、有効期間内に発生した事故を補償する「TSマーク」がありますが、第2種（赤マーク）の死亡重度障害補償は一律100万円、賠償責任限度額が2千万円。高額な損害賠償に備えるのなら、他の保険加入の検討が必要です。



最近は、通勤用に電動アシスト自転車を購入する若い人も多く、購入時には、利用方法等の講習が受けられる。



Road bike ロードバイク

舗装路を速く走るレース向けの自転車。握る位置を変えられるドロップハンドルは、長距離を楽に走ることができます。幅の細いタイヤは悪路には向きません。



（株）カンセキ 商品部商品課 ビット・サイクル部門 バイヤー 湊一隆さん

専門店に聞く 自転車ライフの愉しみ

そろそろママチャリを卒業して健康のために自転車ライフを楽しみたい...、自転車に乗るのは高校生のとき以来○年ぶり...という、大人の自転車、ビギナーの皆さんのために、宇都宮市元今泉のネオ・サイクリスタ館を訪ねて自転車ライフの愉しみのコツをうかがいました。

自転車専門店ネオ・サイクリスタ館には、常時500種類もの自転車に加えて、ウェアや小物、パーツなどが所狭しと並んでいます。自転車にはライトやカゴ、泥よけなどが付いていないものも多く、ビギナーには何をどう選べば良いのか迷うばかり。さっそく同店のバイヤー湊一隆さんに、自転車の選び方を尋ねました。

クロスバイクを選ぶ方が増えています。他に、折り畳めるコンパクトな自転車と、オシャレな電動アシスト自転車も根強い人気があります。その日のファッションに合わせて、2〜3台を乗り換える方もいらっしゃるようです。予算は、クロスバイクで5万円台というのが一般的とか。また、最近の傾向については「乗り物としての機能のみを求めているのではなく、自転車が持つ趣味性や雰囲気に興味を持つ方が増えているようですね」と

分析。「皆さん、雑誌やインターネットなどで情報を得て来店なさるので、私たちスタッフも勉強するのが大変なんです」と笑顔を見せます。インターネット通販が普及していますが、自転車の乗り心地や扱いやすさ、重量などは、実際に触れてみないとわかりません。そこで同店では、電動自転車の試乗会を開催したり、試乗車を常備するなど、「触れる」ことを重視し、接客も時間をかけて

「栃木県は自転車用ヘルメットの普及率が高い県ですが、それでも自転車が関わる交通事故が増えています。安全運転やマナーの啓蒙はもちろんです。お客さまに自転車の整備・点検の必要性を伝えるのも私たちの仕事だと考えています。身近な乗り物だけに、安全に乗るためには細心の注意が必要です。少しでも変だなと感じたら、すぐに専門店に相談することをお勧めします」と湊さん。「点検や整備は面倒ですが、ちょっとした困難と楽しみながら付き合うのが、快適な自転車ライフのコツです」とアドバイスをしてくれました。同店の入口には、無料で使える自転車タイヤの空気入れが置いてあり、この日も近隣の人たちが次々と来店し、自由に空気を入れていく姿を見かけました。スタッフに気軽に声をかけて相談したり、ちょっと丁寧な自転車談義に興じたり。馴染みの専門店を持つことも、自転車ライフを充実させるひとつのコツなのかも知れません。

特集 自転車のまち宇都宮



（取材協力）ネオ・サイクリスタ館 宇都宮市元今泉5-11-16 TEL.613-1555

Let's TRY! ビギナーのための 自転車情報 Bicycle Life



Motor assist bike 電動アシスト自転車



08年12月施行の新基準により、安全性・快適性が高まった充電式の電動アシスト自転車。女性や中高年向けのイメージを払拭する、オシャレなモデルが登場。

Mountain bike マウンテンバイク



タイヤが太く、山道やデコボコ道を走るのに適しています。街乗りでも段差は気になりませんが、重量がかさんで軽快な走りができないのが難点。

Small bike スモールバイク



小径車、ミニベロなどと呼ばれることもあるタイヤのサイズが20インチ以下の自転車。エレベーターにも乗せられるコンパクトなサイズと軽さで人気上昇中。

Cross bike クロスバイク



ロードバイクとマウンテンバイクの特長をバランス良くミックスした自転車。通勤や街乗りからスポーツ走行までオールマイティに使えます。女性にも人気。

失敗しない自転車選び

自転車ショップには、さまざまな形・機能の自転車が並んでいます。それぞれの特長を理解して、目的にあったタイプの自転車を選びましょう。